

普段見ることのない大型犬グレート・デン」を囲む児童たち



動物から大切な命を学ぶ 動物ふれあい授業を実施

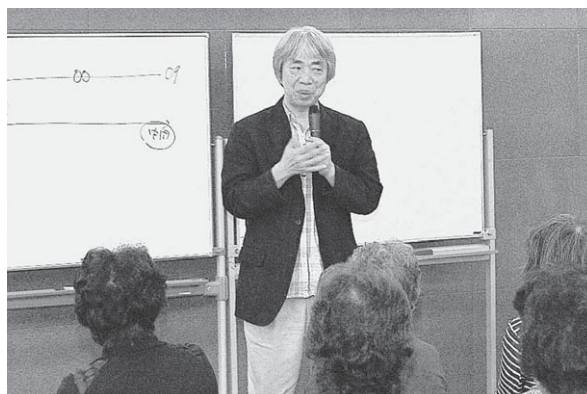
動物ふれあいフェスティバル2009「動物ふれあい授業」は9月29日、和賀西小学校で行われました。同フェスティバルは動物愛護週間(9月20日～26日)に合わせ、岩手県獣医師会花巻支会(高橋知明会長)が主催。高橋会長は「命の大切さを考えながら動物に触れてください」とあいさつしました。

獣医のほかボランティアなど関係者により犬・猫合わせて13匹が集まり、児童たちは楽しそうに触ったり抱いたりしていました。高橋菜々子さん(1年)は犬に聴診器を当て、「心臓の音が早い」と驚いていました。

産直と女性が農を元気に 地域農業の可能性を講演

北上市産地直売所連絡協議会主催の講演会「産直から見える地域のチカラ～農の元気は女性から～」は9月29日、ふるさと体験館「北上」で開催されました。講師は一橋大学大学院の関満博教授。全国各地の集落で、女性中心の農家レストラン経営や農産物が所得向上と地域活性化につながっている例を挙げ、直売所が地域活性化の担い手になることを強調していました。

参加者で「食の匠」の小原伶子さん(和賀町山口)は、「女性のパワーはすごいと感じた。これからも頑張っていこうと思う」と意欲をみせていました。



農産物にどう付加価値を付けるかが重要と、今後の展開を話す関教授

平和訴える活動続け30年 北上ユネスコ協会の活動

北上ユネスコ協会創立30周年記念式典は3日、ホテルシティプラザ北上で開催されました。同協会は昭和53年に創立。「平和の鐘を鳴らそう運動」や「市民の見た世界遺産写真・絵画展」を実施するなど、平和の心をつなげる活動を続けています。

同時開催された第14回ユネスコ運動岩手県大会では「いわてユネスコ賞」表彰式が行われ、1円玉募金などで車いすを購入した黒沢尻西小ほか5団体が受賞。また、運営には市内の4高校が携わるなど、ユネスコの活動は世代を超えた広がりを見せています。

参加者全員でユネスコ会員綱領を読み上げました



CDを伊藤市長に披露する、歌手の川原健さん(中央)と堀ノ内孝雄さん(左)

ご当地ソング出来ました 「きたかみ物語」自主制作

MCプロデュース(堀ノ内孝雄代表)が北上のまちをテーマにした曲をCDとして自主制作し1日、伊藤市長を表敬訪問しました。

CDには「きたかみ物語」と「夜の万世橋」の2曲を収録。作詞作曲は当市出身のシンガー・ソングライター、故立木和正さんで、歌手の川原健さん(MCプロデュース所属)が一部アレンジして歌っています。川原さんは「良い歌を残したいという思いと、万世橋やせせらぎ緑道がにぎわってくれれば」と、制作の経緯を説明。今後各施設の慰問や飲食店で披露するそうです。

病棟の畑でうれしい実り 北上おでんせの会収穫祭

がん家族の会「北上おでんせの会」(高橋慶悦会長)の収穫祭は10日、県立中部病院緩和ケア病棟前で行われました。会員のほか、患者、医療従事者、市職員など約60人が参加。病棟前の畑で採れたサトイモとニンジンを使ったものこ汁と、新米のおにぎりで収穫の秋を祝いました。

畑は4月から、患者との心の会話を目的に同会がボランティアで作業しているもの。これまでトマトやナス、ひまわりなどを植え、約10坪ながらたくさんの実をつけ関係者を楽しませています。



秋晴れの下で食欲も倍増。採れたナスは漬物として振る舞われました



コーラスの部で最優秀賞を受賞した、「安藤・菊地両先生を偲ぶ会」合唱団

名曲で自慢ののどを披露 北上夜曲歌唱コンクール

第22回北上夜曲歌唱コンクール全国大会は3日、さくらホールで開かれました。ソロの部では、東京予選会を勝ち抜き決勝大会へ出場した^{えびすの}戎野由美子さん(埼玉県川口市)が、コーラスの部では地元の「安藤・菊地両先生を偲ぶ会」合唱団が最優秀賞に選ばれました。また、特別ゲストの歌声喫茶・新宿ともしびの皆さんが登場すると、会場内は観客の歌声であふれました。

大会に合わせ、北上夜曲の原風景フォトコンテストの応募作品30点が会場を飾り、歌のイメージする世界を演出していました。

「企業の森」で温暖化防止 岩手東芝社員による植樹

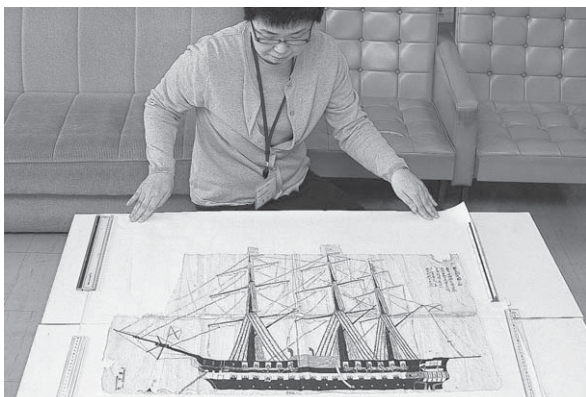
岩手東芝エレクトロニクス株式会社(高須伸賢取締役社長)の社員らによる第1回植林体験会は17日、和賀町山口の市有林内に設置した「企業の森・東芝(北上)」で行われました。(株)東芝と岩手県、市が締結した森林づくりに関する協定により実施されたもので、東芝グループは世界で「150万本の森づくり」活動を展開しています。当市での活動は25年までの5年間で、9千本を植栽予定。今回は0.5㍍の敷地にブナの苗木1,000本を植樹。将来は市の水道水を供給している和賀川の水源地の一部となるのが期待されています。



森林組合の指導の下、植樹作業に汗を流す東芝社員と家族

ロシア軍艦の絵図初公開 中央図書館で収蔵資料展

中央図書館が所蔵する「おろすいや船の図」が、同館で開催する収蔵資料展「伊勢屋朝吉ー黒船を見た郷土のひとー」において初公開されます。艦船は1854(嘉永7)年、日露和親条約調印を目的として来日したロシアの軍艦「ディアナ号」。絵図を描いたのは、幕末から明治初期に活躍した川岸の豪商、伊勢屋朝吉(城澤朝吉)。函館で商売を行っていた際に見聞き詳細を描いたもので、幕府の絵師や外国人の記録絵図ではなく、一般の商人による絵が残るのは非常にまれとのこと。収蔵資料展は11月7日から12日まで開催します。



大砲の数や船首の飾り、船尾の紋章などが正確に描かれています